

# 大気・水系への排出抑制

## 環境モニタリングの実施

富士フィルムは環境への排出を抑制するため、法規制値より厳しい基準値を設け、徹底した自己管理を行っています。

また、PRTRの届け出対象物質を使用している工場周辺での、該当化学物質の大気濃度のモニタリングも実施しています。

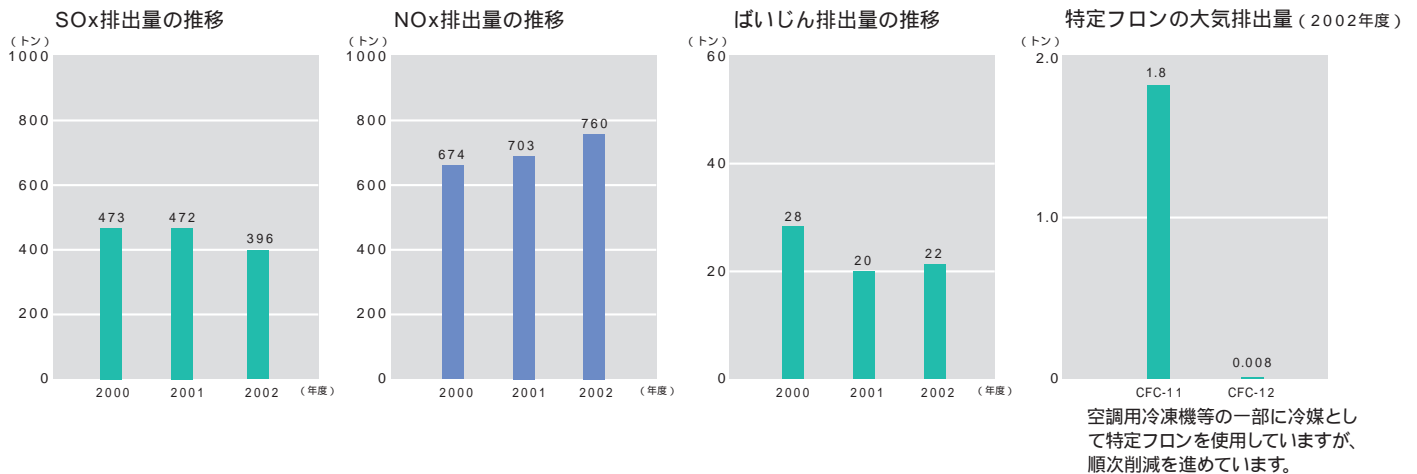
土壌に関してはモニタリングを強化するために環境省の指針に加えて、使用履歴のない化学物質についても詳細調査を実施しています。

## 大気排出の削減のための工場の取り組み

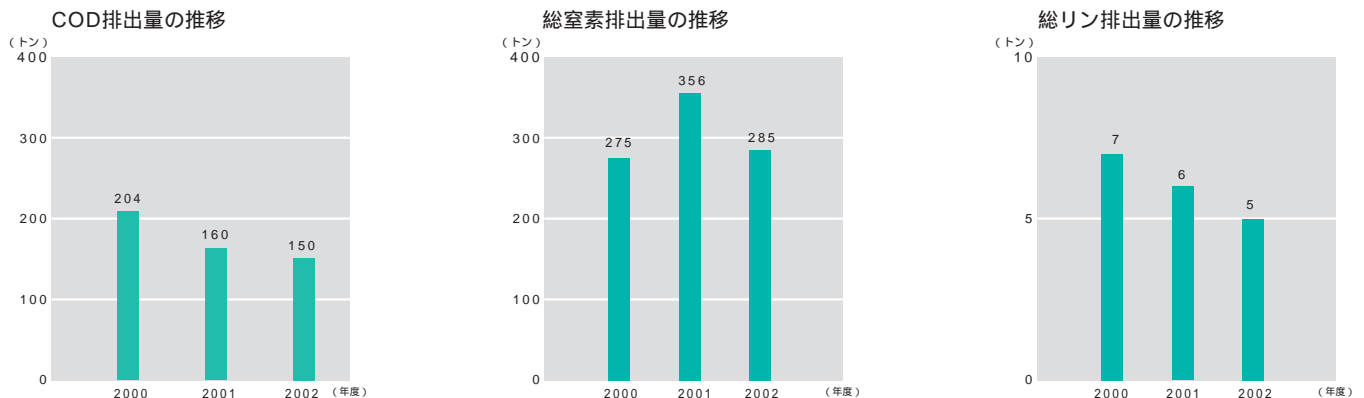
富士フィルムの各事業所では大気汚染に対して、様々な取り組み(硫黄含有量の極めて少ない天然ガスへの転換等)を実施し、成果を挙げています。最近の主な取り組みと、今後の計画は次のようなものです。

実績	1995年度	小田原工場にてボイラー燃料をA重油から硫黄分の少ない重油へ転換。SOx排出量を削減。
		足柄工場で、ばいじん対策として、煙突への高捕集効率式集塵機を設置。
	1998年度	富士宮工場で排煙脱流装置に湿式電気集塵機を設置。SOx排出量を削減。
	2000年度	小田原工場で廃溶剤焼却炉を廃止。SOx排出量を削減。
計画	2002年度	富士宮工場でCO <sub>2</sub> 、SOx排出削減のため天然ガス導入。
	2003年度	小田原工場でCO <sub>2</sub> 、SOx排出削減のため天然ガス導入。
	2004年度	足柄工場でCO <sub>2</sub> 、SOx排出削減のため天然ガス導入。

大気汚染物質排出量の推移 (富士フィルム国内6事業所のデータ)



水質汚染物質排出量の推移 (富士フィルム国内6事業所のデータ)



### COD(化学的酸素要求量)

水の汚れの程度を示す指標です。水中の汚れ(主に有機性汚濁物質)が、酸化剤によって酸化されるときに消費される酸素の量を指します。